

令和5年度 事業報告書 吉祥院いきいき市民活動センター

【指定管理者:NP0 法人ふれあい吉祥院ネットワーク】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 5 名（常勤 3 名、非常勤 3 名）

【人材育成の取組】

・取組の具体例を記載してください。

センター長が中心となり、公共施設の管理・運営を担う職員としての自覚と義務の履行を求め、各種マニュアルや規定を整備し作成して、設備の操作や利用者への受け答えが十分行えるよう必要に応じて指導や研修を行う。また職員自身が市民活動のコーディネーターとして、自らの資質を高めていけるよう、十分な研修と事業を通じて、市民活動を支える人材育成に努めている。

具体的には職員同士のコミュニケーションを円滑にし、報・連・相の徹底と情報共有を第一にし、月に 1 回の職員ミーティングでは事業全体の進捗なども全員が共有。常に自分自身の役割を把握し「考動」していくことを職員の目標に掲げている。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
81	94	105	108	99	99	109	104	98	81	111	111

(年間)

1200 件（前年度比 111%）

イ 利用状況

○ 年間での利用状況について、傾向などを記載してください。

ホームページを見て、新規利用者が増えたのと同時に、新規の定期利用者が増加した。また、会議室に鏡を設置したことによる効果も非常に大きく、ダンスや運動系で鏡を見る業種の増加が著しい。

○ 課題や改善が見られた部分があれば記載してください。

和室と料理室の利用に至っては前年より少し増えた程度にとどまっている。今後は料理室の設備の改善をしたり、和室の利用増には、和室を好んで借りている利用者への頻度増に向けての取り組みが課題。

ウ 利用促進に向けた取組

○ センターで取組まれたことを記載してください。

SNS（インスタ・Facebook・公式 LINE・ホームページ）の発信でセンターを積極的な PR。近隣の施設や商業施設に協力依頼を行い、常時事業のチラシ等を設置する。

地域の回覧板や、市民しんぶんにはチラシの折り込みを入れたり（無償）、地域の団体や学校と連携なども積極的に行い、センターのアピールを行っている。

イベントの申込に 2 次元コードや Google フォームを活用して、ホームページからフェイスブックやインスタへのリンクなども行っている。

エ その他

○ サロンについて、利用状況や前年度と比較した増減の分析等を記載してください。

事業来館 1175 名、自由来館 360 名

前年対比 216%（事業来館 660 名、自由来館 49 名）

サロンで開催した事業に参加した人がサロンを知ることで、自由来館が増えたことが一番大きい。

ママ友同士の集まりや、保育園のママ友茶話会、同じ趣味を通じた集まりの開催など（将棋・カルタ・運動・着付け等）様々な目的で活用されている。

（３）情報発信等

ア 取組実績

○ SNSをはじめとする広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例について記載してください。

ホームページには最新の情報を掲載し、Instagram やフェイスブックも常に更新行う。

○ センターの認知度向上だけでなく市民活動に関わる様々な情報を工夫して周知された取組があれば記載してください。

積極的に SNS 内で、市民活動支援をしている内容を発信。また市民活動をしている方に、活動の楽しさや面白さを話してもらう機会を設けた。

事実、そういった日々の様々な活動を通じて、市民活動の相談が増えた。

イ 取組の効果

○ アの取組により効果が見られた事例を記載してください（団体の立ち上げや事業の実施につながった など）。

団体の立ち上げ実績では、フラダンス同好会とストレッチ同好会が、こちらの手を離れて自立サークルになった。自分たちで貸館を借りて、スケジュールを立てて、毎月定期的にサークル活動を行っている。それにより貸館の売上収入にも繋がっている。

市民活動支援の事業実施では、メイクアップサークル・クラシックバレエ体験・英語リトミックを開催した。

（４）管理運営

○ 防火管理者の選定、建築物の保守管理、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務、保安警備業務、植栽等保全業務の実績について、代表的なものを記載し、最後に「等を実施」と記載してください。

防火管理者の選定、建築物の保守管理、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務、保安警備業務、植栽等保全業務等を実施。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」で実施したものがあれば、その内容を記載してください。

来館者が気持ちよく利用できるよう、施設の掃除を徹底するようにした。

サロンのロビーにはエアコンが設置されていないので、扇風機を 2 台設置。

そして、サロンの入り口や裏庭に四季折々の植物を植栽して、親しみやすい景観に整えた。

そして、来館者との会話の中から地域住民と施設の共生が見いだせるため、職員全員が、来館者とのコミュニケーションを大切にしている。

また特にサロンは、自由来館利用という貸館とは違う位置づけなので、個々の様々な集まりが、多種多様なふれあいを生みだし、それが結果的に地域住民の楽しみや生きがいに繋がるという良い連鎖が広がっていく取り組みを目指している。

今後も、サロンで定期的に事業なども実施し、自由来館者も増えていき地域の方々に愛される活気ある施設にしていきたい。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】吉祥院六斎念仏保存活動支援事業（サロン運営・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月（毎月 2 回～4 回） 等
- 2 開催場所： 吉祥院いきいき市民活動センター 別館サロン 等
- 3 参加人数： 3 名～100 名程度
- 4 協力団体等： 吉祥院六斎保存会・吉祥院小学校 等
- 5 予算： 1,017,000 円 / 決算： 831,742 円

1 事業内容

- ① 指導者育成支援 教材づくり：2023 年 5 月～2023 年 11 月（全 9 回）

子ども六斎用の教材のための太鼓・笛・鉦、吉祥院天満宮奉納の撮影を行い、教材用動画として YouTube の限定配信でアップした。

- ② 運営委員会：2023 年 6/2 6/16 10/8 10/27 11/10 2024 年 2/16（全 6 回）

吉祥院保存会との会議の場を設け、今後の事業の方向性を決めていった。

- ③ 六斎工作教室：2023 年 8 月 5 日(土)10：30～12：00

・六斎総合学習：2024 年 1 月 19 日(木)10：30～12：30

・伝えようプロジェクト：2023 年 10 月～3 月 第 2・4 金曜日

若年層に向けて地域の伝統文化を伝えるため、六斎工作教室を実施。

また、吉祥院小学校の 3 年生の総合学習には、吉祥院六斎保存会といきセンが協力して、子どもたちに六斎の歴史を話し、実際に太鼓を叩くという内容で実施。

六斎伝えようプロジェクトは、指導者の基盤を作るため、子ども六斎に参加していた成人に指導者として戻って来てもらい、練習に参加する働きかけを行う。

- ④ 鑑賞会：2023 年 8 月～2024 年 1 月

・SNS 発信：随時（年間 10 回程度）

六斎を幅広く知ってもらうため、吉祥院天満宮の奉納の様子を YouTube にアップした。また、Instagram や Facebook で講演情報の発信を行った。

吉祥院六斎保存会の Instagram 開設と告知のバックアップを行う。

- ⑤ 六斎資料コーナー：2023 年 4 月～2024 年 3 月 随時

別館のサロンに飾っている写真を、最新の写真に変えて展示。

本館にある六斎資料室の電気を LED に交換し明るい照明に変えた。

評価委員会より、動画作成と YouTube での発信は、保存会の記録を残す意味でも若者に伝統を引き継いでいく意味でも大いに重要と評価頂いていたので、積極的に行った。

2 準備段階での工夫

六斎保存会と事務局は、頻繁に連携行う。そして運営委員支援を通して、事業全体の内容と実施時期を吉祥院六斎保存会と確認をし、今後の計画を立てながら、優先順位を決めて取り組んだ。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
地元団体のイベント時に、吉祥院六斎の **Instagram** の **PR** を行いフォローを促した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

吉祥院六斎保存会に所属している大人が減り、指導者不足と成長と共に離れてしまう子ども六斎の現状を解消することが目標。日々の活動の成果もあり、友達の活動を見て影響を受けて、参加する子どもが増えてた。

六斎総合学習に参加した子どもたちからのお手紙より抜粋
「私にとって六斎念仏は大切な存在です」「獅子や土蜘蛛に興味を持ちました。
興味を持ったのは、みなさんが六斎のことを教えてくれたからです」「やってみたいと思った」「太鼓を打ったのが楽しかったです」

4 今後の抱負

- ① 教材づくりでは、獅子舞の中身の動画を撮影する。また、演目毎に動画を編集し、練習に活かせるような教材を増やしていく。
- ② 引き続き定期的な運営委員会を行い、事業の方向性や必要な支援についての情報交換を行っていく。
- ③ 地域の子どもたちへ自分たちの住んでいる場所にある伝統を知ってもらうため、吉祥院小学校の総合学習への協力と、工作教室を継続して続けていく。六斎伝えようプロジェクトでは、指導者不足解消の為に地域の中学校に総合学習の提案をしていく。
- ④ 様々な動画を **SNS** にアップして、後継者や支援者の発掘につなげていきたい。
- ⑤ いきセンや体育館の利用者の方が興味を持ってくれるきっかけとなるように、資料コーナーを充実させていく。



六斎念仏練習風景



NHK 取材



六斎念仏練習風景



六斎念仏練習風景



六斎総合学習



六斎総合学習



六斎工作教室



青い空保育園 訪問

【事業名】地域課題及び人材育成事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 5 年 4 月 ～ 6 年 3 月間随時
- 2 開催場所： 吉祥院小学校 / 吉祥院いきいき市民活動センター 等
- 3 参加人数： 5 名～1000 名（事業内容により変わる）
- 4 協力団体等： 吉祥院小学校・洛南中学校・市政協力委員会・吉祥院社会福祉協議会・自主防災会 等
- 5 予算： 1,012,000 円 / 決算： 866,287 円

1 事業内容

① ふれあいジャンボリー実行委員会自立に向けた支援

実行委員会：2023 年 5/11 6/21 7/3 7/12 9/4 10/2 10/21 12/11

ジャンボリー実施日：2023 年 10 月 21 日(土) 9：45～15：00

吉祥院ふれあいジャンボリーを自走化させるため、昨年に続き、運営体制や運営資金、ジャンボリー実行委員会に今後の支援について理解してもらえるよう、ジャンボリー実行委員会の支援を行う。

② 吉祥院トーク：2023 年 7/5 8/23 9/25 11/27 2024 年 1/10

まち歩き：2024 年 1 月 27 日(土) 9:30～12：30

吉祥院に住んでいる方々の「やりたいこと」を形にしていく事業。今回は、吉祥院の寺社仏閣の魅力を再発見するまち歩き。

③ いきセン講座：南青少年活動センターと共催

南青少年活動センターと共催し、様々なテーマの社会課題を学ぶオンライン事業。

吉祥院いきいき市民活動センター別館サロンでパブリックビューイング開催。

- ・地域で支える子ども・若者のトラウマ理解 2023 年 5 月 22 日(月)13:00～15:00
- ・SNS 相談～子ども若者支援の新しい可能性 2023 年 7 月 31 日(月)13:00～15:00
- ・教育虐待～母親という呪縛 2023 年 9 月 2 日(土) 13:00～15:00
- ・生きづらい子ども・若者たち 2023 年 11 月 10 日(金) 13:00～15:00
- ・教育虐待から考える子ども 2024 年 2 月 9 日(金) 13:00～15:00

- 評価委員会からは、南青少年活動と共催した SNS 活用事業は非常に良いと評価頂いていたので、昨年度よりも回数を増やした。

2 準備段階での工夫

- ① 実行までに、ジャンボリー実行委員の方々と定期的に実行委員会を設けて、意見を出し合い、各団体が各々の役割を果たせるようにしていった。

2026年のジャンボリーをどうしていくのか、各団体が意識して取り組んでもらうよう働きかけた。

- ② 吉祥院トークでは、前年度の反省点を踏まえ、今回の事業に繋げられるようにした。
- ③ 南青少年活動センターの方と連携を図り、参加される人数等共有する。

地域の団体さんと連携し、近隣に配布する市民しんぶんチラシを折り込んで広報を行っている。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ① 自走化に向け、各団体さんの意識が少しずつ変わってきてきた。また、実行委員会では、参加者全員に発言してもらえよう工夫した。残り2年間で、更に自走化の意識を高めてもらい、完全自走化に向けて支援していく。
- ② まちづくりに興味ある人の発掘、地域課題の解決を目的にしており、地元の吉祥院の魅力を発掘したいという方が、少しずつではあるが増えてきた。そして、市民の方々がやりたいことを自主的に決めて形にしていくことができるようになってきた。
- ③ 引き続き南青少年活動センターと連携し、市民の方々に社会課題を学んでもらう場を提供していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

ジャンボリーの自走化について、少しずつではあるが各団体さんの意識が自走化に向けて高まってきているように感じる。各団体の意識が少しずつ変わってきている。

まち歩きは、昨年のもち歩きに参加した人が、吉祥院トークに参加するようになり吉祥院でやりたいことを形にしていった。地域外の方の参加者には、吉祥院の魅力を広めることが出来たことが良かった。

ジャンボリーアンケートより抜粋「活動する諸団体の協力が得られて、皆が一つの方角を見つめることができた」「地域の人同士の交流の場としても良いイベント」

まち歩きアンケートより抜粋「お寺や吉祥院天満宮の話が聞けたので良かった」「普段見れないところを見せてもらえてとても良かった」「今まで知らなかったことが知れた」

4 今後の抱負

ジャンボリーの自走化について、各団体の意識が高まってきている。現在、吉祥院いきセンが担っているところを、徐々に各団体が行うよう振り分けていきたい。

まち歩きについては、積極的な集まりになってきているので、引き続き市民のやりたいを形にしていく事業として確立させていく。



【事業名】 市民活動スタートアップ・活性化支援事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月
- 2 開催場所：吉祥院いきいき市民活動センター本館・別館・吉祥院地域体育館 等
- 3 参加人数： 10 名～100 名（事業内容により異なる）
- 4 協力団体等：吉祥院消防団 等
- 5 予算： 753,000 円 ／ 決算：714,898 円

1 事業内容

市民活動と地域との繋がりを構築し、市民団体・組織への参加を増やし、市民セクターや個人の活動を活性化する。

① サークル活動立ち上げ支援

- ・フラダンス同好会 2023 年 4 月～2024 年 3 月（全 24 回）14:00～16:00
- ・メイクアップサークル 2023 年 6/24(土)・7/29(日)（全 2 回）13:00～14:30
- ・リトミック 2023 年 8/18(金) 9/30(土)・10/28(土)（全 3 回）10:30～12:00
- ・クラシックバレエ無料体験 2023 年 7/6(木)・12/7(木)（全 2 回）17:00～20:00
- ・いきセン☆イラストクラブ 2024 年 2/17(土)（全 1 回）14:00～16:00
- ・音楽サークル 2024 年 3/2(土)（全 1 回）13:00～16:00

② ふれあいひろば

2023 年 11 月 23 日(木・祝) 11:00～15:00

ふれひろ交流会：2023 年 4/17(月)・5/22(月)・6/26(月)・7/24(月)・8/24(木)・9/25(月)・10/25(水)

③ いきセン講座

2023 年 11 月 23 日(木・祝) 11:00～15:00

市民活動をしている吉祥院消防団の方と、吉祥院いきセンでガーデニングのボランティア活動している市民の方にふれあいひろばで、市民活動やボランティア活動の楽しさについて話をしてもらった。

2 準備段階での工夫

全ての事業に共通して、参加される団体さんとは、SNS や対面、また電話等で密にコミュニケーションを取っていき、当日円滑に行うようにした。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

ふれあいひろばでは、センターの利用者さん達同士の交流、センターと地域住民との繋がり、また市民活動されている方の活動の場を提供し、市民活動支援に大きく寄与できた。

サークル活動立ち上げ支援では、個人で活動していたフラダンス同好会やリトミックは、当初同じ趣味を持った人同士の同好会から始まったが、6年度からは、各自で活動方針等を決めて、当センターの部屋を借りて自立に至った。

このような成功例が続くように取り組んでいく。

(2) 事業実施による目標の達成度

全項目の報告と重複するが、市民セクターの活性化や、個人の活動の自立や活性化が出来たことは達成度としては非常に高い。

ふれあいひろばといきセン講座で、アンケートを実施した結果、満足度において、とても良い 54%、良い 45%、普通 2%だった。(アンケート回答者 72 名) 出展者と来館者からも今までにないほど好評だったので、今回のやりかたをベースにして次回、もっと市民セクターの活性に繋がり、参加者に喜んでもらえるふれあいひろばにしていきたい。

(ふれあいひろばアンケートより抜粋)

「地域の方々の活動が見れて良かった」「人々と交流できることがとても良い」「各ブースが個性的で良かった」「面白いブースが沢山あり、バラエティー豊かだったこと」

4 今後の抱負

市民活動のサポートという点で、今後この事業には特に力を入れていきたい。

次回のふれあいひろばは、今年の良かったところを継続しつつ、更に市民セクター活動を広めていけるように取り組んでいくことと、これまでは ZOOM でミーティングしていたものを対面に変更し、もっとふれあいができる交流会を増やしていく。

常日頃から利用者の方々との交流を大切にして、相談してもらいやすい環境づくりと人間関係を大事にし、市民活動の活性化と自立化に向け取り組んでいく。



サークル活動立ち上げ支援

- ・リトミック
- ・イラストクラブ
- ・フラダンス同好会
- ・音楽サークル



ふれあいひろば



いきセン講座

- ・ガーデニング
- ボランティア
- ・吉祥院消防団

【事業名】地域交流拠点事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月 （通年）
- 2 開催場所： 吉祥院いきいき市民活動センター ・別館サロン
- 3 参加人数： 10 名～35 名
- 4 協力団体等： 吉祥院児童館等
- 5 予算： 2,144,000 円 ／ 決算： 1,882,809 円

1 事業内容

地域間や世代間での積極的な交流の場を提供し、発掘した人材が活動出来る事業を実施し、市民にとって住みやすい、顔の見えるまちづくりと事業を通してサロンの利用促進に繋げる。

① 子育てサロン

- ・児童館コラボ事業：スクラップブックング・ベビーマッサージ・親子ヨガ（全 7 回）
- ・幼児性教育：2023 年 7/7(金) 8/4(金)11:00～13:30 （全 2 回）
- ・栄養士座談会：2023 年 9/1(金)11:00～12:00 ※児童館より要望を受け実施
- ・放課後学習会：月 2 回 17：00～20：00（全 30 回）実施
- ・親子で楽しむキラキラぬり絵：2024 年 2/4(日)10:30～12:00

② 今日は何の日？

- ・ストレッチ教室：2023 年 4 月～2024 年 3 月 2 部制（全 44 回）
- ・小物づくり：2023 年 6/15(木) 7/20(木) 9/14(木) 10:00～12:00（全 3 回）
- ・ららら♪うたの日：2023 年 9/29(金) 毎月最終金曜日開催（全 7 回）
- ・脳トレ：2023 年 6/15(木) 毎月第 3 木曜日開催（全 10 回）
- ・しめ縄リース作り：2023 年 12/23(土)14:00～16:00
- ・台湾式坐禅：2023 年 4 月～2024 年 3 月 月 4 回開催（全 46 回）
- ・いきいき作品展

児童館作品展：2023 年 8 月 28 日(月)～9 月 9 日(土) 来館者数：約 40 名

合同作品展：2024 年 2 月 15 日(木)～3 月 15 日(金) 来館者数：約 90 名

③ 施設設備

- ・みんなのサロンプロジェクト：2023 年 4 月～2024 年 3 月 サロン利用者が利用しやすいように扇風機の増設を行う。寄付による絵本の補充等。
- ・いきいきガーデン：2023 年 4 月～2024 年 3 月（随時）四季折々の花を植栽。

2 準備段階での工夫

- ① 利用者が安心して施設を使えるように、安全面と衛生面を一層強化する。衛生面で気持ちのいい施設に意識した。SDGS の観点からも、絵本やおもちゃは購入せず、利用者さんや児童館から譲り受けたものを再利用した。
- ② 開催事業集客のため、SNS と地域の回覧板や市民新聞への折り込み、各施設へのチラシ配架手配、近隣宅へのポスティングなど幅広い告知を行う。
- ③ 花壇は土壌改良をして苗や種から育てた。サロンの庭の手入れも定期的に行い、四季折々の花壇にして、来館者や近隣の方々の目を楽しませた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

事業でサロンを利用した方が、その後自由来館でサロンを使う頻度が増えてきた。

子育てママの集まりや、趣味の着付けや、ダンスの練習等にも利用するなど、若い世代が増えてきたのも嬉しい。

(2) 事業実施による目標の達成度

概ね、事業の満足度は高い。地域の方はじめ、地域外から定期的に来られる方も増えている。当初目標にしている自由来館でのサロン利用が増えているのが非常に嬉しい。

(アンケートより抜粋)

「大人も子どもも夢中で楽しめた」「家ではできない体験ができてうれしい」「専門の方に相談できて不安や疑問が軽くなった」「他の方のお話を聞くことで学べるし、自分が気づかなかったこともあり、こういった場だからこそ共有できる」「こんな場所があるので嬉しい」「いろんな事業があるので楽しみ」

4 今後の抱負

今後も、地域間や世代間での積極的な交流の場を提供していく。

またそこで出会った方々の活動の場とする事業を実施していく。

市民の方々のサロン利用促進を今後も増やしていく。



スクラップブッキング



ベビーマッサージ



幼児性教育



栄養士さんと座談会



キラキラぬり絵



小物作り



脳トレ



しめ縄リース作り



うたの日



いきいきガーデニング

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和5年度実績：1,573,400 円（前年度比 134.6%）

〔内訳 会議室等：1,573,400 円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

（1）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和5年11月実施

【調査項目】窓口サービス

（2）センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

（1）全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
57%	38%	5%	0%	0%

（2）センター独自アンケート

いつも親切にしてもらっている。楽しい事業が多い。笑顔で対応してくれる。

3 意見等への主な対応状況

- 人気のある事業は引き続き継続していく。市民交流ができる事業を開催している。
どのようなことでも相談しやすい環境作りを心がけている。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

貸館については、利用者件数と時間も前年より増えている。ホームページをリニューアルしてからは、センターの貸館状況などがタイムリーに見れるため予約に繋がるケースも多い。そして、利用者件数と共に利用時間も増えてきているのが今年度の大きな傾向。

サロン活用事業では、自由来館が顕著に増えてきている。事業を通じてサロンを知り、若い世代が友達同士の集まりでサロンを利用するケースや、趣味を通じて集まる場所に繋がってきている。

地域住民の人材発掘及び育成事業では、南青少年活動センターのオンラインセミナーを共催したことで内容が充実した。また、事業を通じて様々な方と交流が増えたことで市民セクターの活動の活性化に繋がってきている。

- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

会議室の利用は増加しているが、和室と調理室の利用増がまだまだ課題。料理室の設備（オープン）を新しくして事業を開催し、料理室の貸館利用に繋げていく。

- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。

鏡がある会議室②の利用が増えているので、今後はキャスター付きの鏡を設けていきたい。事業に関しては、引き続き、ジャンボリーの自立に向けた支援と、六斎保存会活動支援を地域の取組俊て、各団体と協力しつつ、市民活動スタートアップ支援に一層力を入れ、自立していくまでサポート行い、貸館利用に繋げていく。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

例）重大な事故やコンプライアンス違反等があった場合は、その概要、改善策等を記載

例）年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業があった場合は、その事業の名称及び内容、実施できなかった理由、中止した事業の取扱い（翌年度（令和6年度）に実施するのか、しないのか。）等を簡潔に記載

→ 特になし

【締め切り】

5月22日（水）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙1部を提出

※ 地域自治推進室の確認後、紙の残部（17部又は18部）を提出

※ 収支決算書は、5月15日（水）までに提出してください。